

教育と文化

みんなで
考えよう
人権・同和問題
No. 253

このコーナーは、隔月のシリーズで掲載しています。これを手がかりに、家庭で人権・同和問題について話し合ってみましょう。

● 問合先 生涯学習課人権・同和教育係 ☎(23)3186

私たちの性は、スペクトラム

学生時代へタイムスリップしてみよう。私たちは生物学の授業で、「性は女と男の2種類で、性染色体XとYによって決まる。女性はX、男性はXY」と学びました。この認識によって、私たちは日常生活のさまざまな場面で、性の区分を求められます。赤ちゃんが生まれると、性別を記載した出生届を提出しなければいけませんし、さまざまな申請書類にも性別欄があります。ですが、男女を選択することを悩まなければいけない人がいることをご存じですか。例えば、体の性と心の性が一致しない『トランスジェンダー』と呼ばれる人たちです。

このような状況の中、現代科学は、今までの固定観念を打ち砕きました。XX、XYの間には、実はいろいろなタイプの性染色体が存在していて、明確な境界があるわけではなく、連続していきま

● 問合先 生涯学習課文化財係 ☎(22)1262

伊万里の遺構シリーズ「埋葬遺構を中心として」⑨

郷土の文化財

小島古墳

(山代町久原 昭和47年調査)

小島古墳は東西約200呎、南北約100呎の文字どおり小さな島の一番高い場所(標高28呎)に築造された前方後円墳です。今では、埋め立てにより陸続きとなつていますが、かつては海岸から約400呎離れた島でした。古墳は全長約43呎、最大幅約25呎、最大高約5.2呎です。築造当時、古墳の表面は石で覆われ、一部には埴輪も設置されていたと考えられています。

現在では、周辺に工場や多くの建物があり、木々に覆われた緑豊かな小島が自然を残す風景となつていますが、築造当時は逆でした。

島の一番高い場所、樹木がなく石で覆われた巨大な古墳は、人工物が全く見られない自然のままの海浜

周辺のなかでは、異様であり、目立つ人工物でした。

小島古墳は、外海から舟に乗って伊万里湾の中に入ってきた人々に威圧感を与え、伊万里湾の奥まった地域が、力のある王の支配地域であることを知らしめるシンボリックなものだったと考えられます。現在は、小島公園として整備されています。



↑小島の遠景(南から)。矢印は古墳の位置